

施策評価調書(22年度実績)

政策体系	施策名	人材育成・雇用対策	施策コード	Ⅲ-1-(3)
	政策名	活力を創造する商工業等の振興	主管部局名	商工労働部
			担当課室名	雇用・人材育成課
施策概要	ものづくり産業の集積に伴い、製造業を支える優秀な人材のニーズが高まっているため、企業ニーズに沿った高度な実践技術者の育成・確保に取り組む。また、若者の失業率や離職率が高水準で推移するなど、若者を取り巻く雇用環境は依然厳しい状況にあるため、若年者就業対策に取り組む。さらに、いきいきと働ける社会づくりのため、出産や育児・介護等で離職した女性の再就職の支援強化や障がい者の働く能力を高める支援事業に取り組む。			

【評価指標】

	主な取組	指標	基準値		22年度			27年度
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値
①	優秀な人材の育成とミスマッチの解消	i 若年者(30歳未満)就職率	H16	34.3	36.0	34.2	95.0%	37.0
②	若年者の就業観・勤労観の醸成	ii 新規高卒者就職内定率	H16	95.6	96.0	98.1	102.2%	99.0
③	雇用環境の地域間格差の解消	iii 県が育成したコミュニティビジネス団体数	—	—	40	81	202.5%	60
④	いきいきと働ける雇用環境の整備	iv 障がい者就職率(就職者数/新規求職数)	H16	43.1	44.0	41.5	94.3%	45.0
					平均達成率(%)		123.5%	

【業績評価】

No.	業 績 評 価		
i	概ね達成	ジョブカフェにおいて、企業と若者との出会いの場の提供や企業ニーズに沿った人材育成などに努めたものの、景気低迷の影響もあり、目標値を下回った。	平均 評価
ii	達成	新規高卒者を対象とした就職面接会の実施や高校と連携した就業支援対策に取り組んだ結果、目標値を上回った。	
iii	達成	地域活性化総合補助金により、地域資源やコミュニティビジネス事業者の育成が進んだ結果、旧町村部において雇用の場が確保され、目標値を上回った。	
iv	概ね達成	職業訓練を経た障がい者の就職率は目標値を上回り、積極的に障がい者の雇用に取り組む障がい者雇用推進企業の開拓も進んだが、景気低迷などもあり、全体としては目標値を下回った。	達成

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

指標 No.	事業名	事務事業評価		事業コスト
		総合評価	掲載頁	
i	1 ジョブカフェおおいた推進事業	現状維持	-	58,866
	2 高度ものづくり実践技術者育成事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	-	33,826
	3 おおいた県内就職大作戦推進事業	現状維持	110	42,403
	4 おおいたマイスター育成大作戦推進事業	現状維持	108	14,486
ii	1 ジョブカフェおおいた推進事業	現状維持	-	58,866
	2 (おおいた県内就職大作戦推進事業)			
iii	1 地域活性化総合補助金	見直し(23年度)事業内容の拡充	28	526,941
iv	1 障がい者職業能力開発事業	現状維持	109	26,299
	2 障がい者雇用促進強化対策費	見直し(23年度)効率化の推進	-	6,862
	3 女性の再就職チャレンジ支援事業	現状維持	-	15,530

【構成事業の妥当性】

雇用情勢が厳しい中、新規学卒者の就職促進や早期離職の防止、既卒未就職者対策など、若年就業者をめぐる諸課題に対処するため、企業ニーズに応じた人材育成や就職面接会等による企業と学生のマッチング支援、早い段階からの職業観・勤労観の醸成に取り組む必要がある。
また、地域の特性を生かしたコミュニティビジネスの立ち上げによる新たな雇用の創出、障がい者や女性等の個々の態様に応じた就業支援の取組が必要である。

【施策主管部局評価】

評価	ア 拡充	イ 現状維持	ウ 見直し
理由	ものづくり産業のさらなる集積を図るため、企業のニーズに応える人材の育成に取り組む必要がある。同時に、若年者の就業観・勤労観の醸成、女性の再就職及び障がい者の就業支援など、早急に取り組むべき課題は多く、引き続き各般の事業を積極的に推進していく必要がある。		

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

指標 No.	事業名	取組内容	事業コスト
i	1 ジョブカフェおおいた推進事業	キャリア相談や就職支援セミナー、県内企業に関する情報発信等を実施	58,971
	2 高度ものづくり実践技術者育成事業	企業ニーズに合った人材を育成するための機器整備等を推進	47,810
	3 おおいた県内就職大作戦推進事業	県内企業の情報発信及び高校生等とのマッチングを推進	44,251
	4 おおいたマイスター育成大作戦推進事業	工業系高校生を対象に高度熟練技能者による技術指導等を実施	17,426
ii	1 ジョブカフェおおいた推進事業	企業人による職業講話や職場体験、企業見学会の実施支援	58,971
	2 (おおいた県内就職大作戦推進事業)		
iii	1 地域活性化総合補助金	コミュニティビジネス事業化に係る調査研究、事業立ち上げの支援	445,000
iv	1 障がい者職業能力開発事業	障がい者を対象とした職業訓練を実施	36,377
	2 障がい者雇用促進強化対策費	手話相談員の配置、障がい者就職面接会の開催	7,010
	3 女性の再就職チャレンジ支援事業	職業訓練期間中の保育料助成、託児付職業訓練の実施	24,217

【今後の施策展開の方向性】

労働力人口が減少する中、本県産業の持続的発展を図るため、企業の人材ニーズに応える人材を育成し、県内就職を一層促進する。
また、地域の特性を生かしたコミュニティビジネスの事業化を引き続き支援するとともに、障がい者や女性等がいきいきと働くことができる社会をつくるため、各般の事業を積極的に推進する。